

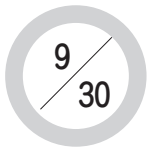
西いぶり定住自立圏形成協定合同調印

室蘭市・登別市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町



ふるさとに暮らし続ける
ことがでできるまちづくり

定住自立圏の形成に関する協定書に調印



とうほんせいそう
東奔西走

9月30日(木)、室蘭市役所で西いぶり定住自立圏形成協定合同調印式が行われ、小笠原市長をはじめ、室蘭市・伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の各市町長が協定書に調印しました。

定住自立圏構想は、中心市が中心となり、周辺の市町とそれぞれ1対1で協定を結び、相互に連携して圏域全体が都市機能を持つことにより、大都市への人口の流出を防ぎ、地域住民の生活を守り支えるもので、昨年12月に中心市宣言をした室蘭市の呼び掛けに各市町が応え実現したものです。

今後、医療や防災、教育、産業など、さまざまな分野での連携がなされていきます。小笠原市長は、「医療分野での連携は、住民の皆さんの生活向上につながるのと特に期待しています」と述べ協定書に調印。新宮市長と協定書を交換すると、力強く握手を交わしました。



▲入館料は500円（市民250円）、高校生200円、小中学生100円です

知里幸恵を未来へ…



『知里幸恵 銀のしずく記念館』オープン

9月19日(日)、登別本町に『アイヌ神謡集』の著者知里幸恵の功績を伝える『知里幸恵銀のしずく記念館』（NPO法人知里森舎建設）がオープンし、関係者や多くの市民が詰めかけオープンを祝いました。

記念館は、平成14年から約8年間をかけ、2千500人から寄せられた募金により建てられたもので、神謡集の初版本やノート、手紙など約70点が展示されています。今後、収蔵品300点の中から随時更新をする予定です。

記念館は9時30分から16時30分まで（毎週火曜日と年末年始は休館）開館しています。